



全国釣竿公正取引協議会 第38回定時総会 議事録

1. 招集通知送付日 令和4年5月9日(月)
2. 開催日 令和4年5月25日(水) 14:00~15:00
3. 開催場所・方法 会場：日本フィッシング会館 8階会議室
東京都中央区八丁堀二丁目22番8号
オンライン：オンライン会議システム Zoom
※会場とオンライン会議システムをつなぎ、出席者は、
会場またはオンライン上で賛否を表明した。
4. 会員数 60社
5. 定時総会の成立
会則第18条第1項に基づき、過半数(出席者数 54社
(出席 14社、委任状 28社、議決権行使書 12社)が
出席しているため、第38回定時総会は有効に成立した。
6. 議長選出
会則第18条3項に基づき、藤井 治幸 会長が就任した。
7. 議事録署名人選出
会則第23条に基づき、藤井 会長、出席者より塩澤 直人 副会長、
橋本 俊哉 会計理事の3名を選出した。
8. 議事の経過の要領及び議案別の議決結果
(以降、頁数は定時総会資料の該当部分である)
第1号議案 第38期(令和3年度)事業報告について(4頁~27頁)
議長の指名により、事務局が資料に基づき第1号議案の報告を行った。
1-1 庶務事項
 - ①会員数 61社 3社退会
※5月25日(水)開催第169回理事会にて、1社退会の報告を行っ
たため、第38回定時総会議決権総数は60社である。
 - ②認定書発行業務 新規認定202件、追加認定94件(合計296件)
 - ③公正マーク頒布事業 公正マーク 1,672,000枚
警告表示マーク 24,500枚
公正・警告表示マーク 239,000枚
 - ④会議開催回数 10回
定時総会1回、理事会5回、総務委員会2回、調査指導委員会1回
第37回定時総会終了後、4社の会員、4名の役員の表彰を行った。
【会員表彰 10年 (敬称略)】
株式会社キャップス 平成21年12月18日入会
株式会社ブライトリバー 平成21年12月18日入会
※第36回定時総会が書面開催であったため、第37回定時
総会終了後に表彰を行った。



青森宝栄工業株式会社
株式会社下田漁具

平成 22 年 12 月 18 日入会
平成 22 年 12 月 18 日入会

【役員表彰】

20 年 鈴木 隆 理事（監事 10 年、理事 9 年、副会長 1 年）
12 年 玉越 和夫 監事（理事 2 年、監事 10 年）
12 年 姫野 哲司 監事（理事 2 年、監事 10 年）

【特別表彰】

保井 利彦 氏

※第 37 回定時総会で退任した役員で、長年当協議会の役員、委員を務めた功績をたたえ、表彰を行った。

1-2 表彰

井上信治内閣府特命担当大臣（消費者担当）より、鈴木 隆 理事が、令和 3 年景品表示適正化功績者として表彰された。

1-3 広報・宣伝に関する事業

- ①第 12 代アングラズアイドル 池山智瑛さんを起用した釣竿公正マーク周知広報ポスターを制作し会員企業の皆様のご協力により、日本全国の釣具店様、釣り宿店様、釣り船店様、管理釣り場様等に配布、掲示を行った。（春夏 5,000 枚、秋冬 5,000 枚 合計 10,000 枚）
- ②業界紙（釣具界・日本釣具新報・釣具新聞）や釣り雑誌（つり人、週刊つりニュース関東版・中部版、釣り画報、釣ファン、つり情報、つり丸、バサー、へら鮒、アングリングファン、磯釣リスペシャル）、インターネット釣り情報サイト（TSURI HACK）、YouTube チャンネル（六畳一間の狼）に釣竿公正マーク、釣竿からの感電注意を内容とする広告を出稿した。
- ③オンラインフィッシングショー（釣りフェスティバル）に出展を行った。YouTuber マルコスさんを起用した、釣竿公正マーク、釣竿からの感電注意などを内容とする動画を作成し、オンライン上で見られるようにした。
- ④1 月 21 日（金）から 2 月 24 日（木）まで、釣竿公正マークについてのアンケートを実施した。回答数は 1,907 件であった。公正マークの認知度は、年々上昇しており、釣竿公正マーク付の釣竿について 81% の回答者が「信頼できる」「メーカーや販売元が明らかな釣竿」であると認識している。アンケート回答者には公正マーク付きノベルティグッズなどをプレゼントし、一部の当選者の SNS では、当選の喜びとともに公正マークを紹介していた。
- ⑤会員企業の皆様のご協力で、26 社が 11 月 30 日 11 時 30 分に各社 SNS にて一斉に公正マークを投稿した。ご協力いただいた会員の皆様方に御礼を申し上げた。
- ⑥11 月 30 日に当協議会 SNS（Twitter・Instagram）の運営を開始した。プロアングラーさん、アングラズアイドルさんなど、8 名の

皆様に釣竿公正マークのパネルを持った画像、釣行写真などの提供を受け、週1回程度投稿を行った。

1-4 調査指導に関する事業

10月29日に調査指導委員会を開催（オンライン）し、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、日本フィッシング会館にて12月2日に会員対象調査を実施した。会員対象調査終了後、指導内容を記載した調査結果表を参加会員企業に送付した。

なお、店頭調査、釣竿の繊維含有率検査は中止した。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、議決権総数60、会場出席、委任状及び議決権行使書54、議決権行使書はすべて賛成であり、第1号議案は承認された。

第2号議案 第38期(令和3年度)決算報告について (30頁~33頁)

議長の指名及び橋本 会計理事の指示により、事務局が資料に基づき第2号議案の報告を行った。

貸借対照表・正味財産増減計算書・財務諸表に対する注記・財産目録

①貸借対照表	流動資産合計	29,473,098円
	固定資産合計	16,006,094円
	資産合計	45,479,192円
	流動負債	2,452,143円
	正味財産合計	43,026,028円
	負債及び正味財産合計	45,479,192円

②正味財産増減計算書	経常収益計	27,209,554円
	経常費用計	21,731,689円
	（事業費支出）	14,969,701円
	（管理費支出）	6,761,988円
	当期経常増減額	5,477,865円
	正味財産期末残高	43,026,028円

正味財産合計金額（貸借対照表）と正味財産期末残高（正味財産増減計算書）が43,026,028円で一致している。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、議決権総数60、会場出席、委任状及び議決権行使書54、議決権行使書はすべて賛成であり、第2号議案は承認された。

第3号議案 第38期(令和3年度)監査報告について (35頁)

議長の指名により、玉越 和夫 監事が資料に基づき第3号議案の報告を行った。

令和4年4月22日（木曜日）に提出された令和3年度決算報告書

(すなわち貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録)を橋本会計理事立ち合いのもと、玉越監事及び姫野 監事が監査した結果、いずれも適法かつ適正と承認した。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、議決権総数 60、会場出席、委任状及び議決権行使書 54、議決権行使書はすべて賛成であり、第 3 号議案は承認された。

第 4 号議案 第 39 期(令和 3 年度)事業計画(案)について (38 頁～41 頁)

議長の指名により、事務局が資料に基づき第 4 号議案の説明を行った。

4-1 釣竿の表示に関する公正競争規約と施行規則等に関する事業

①公正競争規約の遵守

規約を遵守することは表示のコンプライアンスにつながることを継続して呼び掛けていく。

4-2 公正マークの管理に関する事業

①安定した公正マークシールの供給を行う。

②公正マークの国内外における商標の管理を適切に行う。

4-3 広報・宣伝に関する事業

①公正マークの PR

釣りタレントを起用した公正マーク周知広報ポスター(春夏 5,000 枚、秋冬 5,000 枚 合計 10,000 枚)を作成し、会員企業の皆様のご協力で、日本全国の釣具店様、釣り船店様、釣り宿店様、管理釣り場様等に配布、掲示を行う。

②釣竿公正マークの同日同時刻(11月30日(水)11:30)SNS一斉投稿の実施を、会員企業の皆様にお願ひする。

③女性アングラーを起用したポスターを継続発行する。

④運用を開始した SNS の活用方法を検討していく。

⑤釣りシーズン中に、釣竿からの感電注意に関する動画等を活用し、事故防止の啓発を行う。

4-3 調査指導に関する事業

①調査事業への参加率向上を働きかける。

②コロナ下であっても実施できる調査を行う。

4-4 関係官庁及び関連団体との連絡、協調に関する事業

①会議、セミナー等に参加し、連携を行う。

4-5 会員募集

①退会が増加したので、会員増加の取り組みを検討していく。

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、議決権総数 60、会場出席、委任状及び議決権行使書 54、議決権行使書はすべて賛成であり、第 4 号議案は承認された。

第 5 号議案 第 39 期(令和 4 年度)収支予算書(案)について (42 頁)

議長の指名により、事務局が資料に基づき第 5 号議案の説明を行った。

事業活動収入合計	27,246,500 円 (対 R3 年度決算額 100%)
事業活動支出合計	28,790,000 円 (対 R3 年度決算額 132%)
（事業費支出）	20,730,000 円 (対 R3 年度決算額 138%)
（管理費支出）	8,060,000 円 (対 R3 年度決算額 119%)
事業活動収支差額	-1,543,500 円 (対 R3 年度決算額 -28%)
一般正味財産期首残高	43,026,028 円
一般正味財産期末残高	41,482,528 円 (対 R3 年度決算額 96%)
正味財産期末残高	41,482,528 円 (対 R3 年度決算額 96%)

質疑応答の後、議長が議決権の確認を行ったところ、議決権総数 60、会場出席、委任状及び議決権行使書 54、議決権行使書はすべて賛成であり、第 5 号議案は承認された。

第 6 号議案 役員選考委員会設置について (66 頁)

議長の指名により、事務局が、配布資料及び投影資料に基づき、第 6 号議案の説明を行った。

令和 5 年 5 月開催予定の第 39 回定時総会において、すべての役員が任期満了となる。役員改選を行うため、①総務委員会内に役員選考委員会を設置する。②なお、委員に欠員が出た場合は、理事会において審議を行い、委員を補充する。

第 6 号議案では、①総務委員会内に役員選考委員会を設置すること、②委員に欠員が出た場合は、理事会において審議を行い、委員を補充することの 2 点につき審議を行った。

【役員選考委員会 6 名】

藤井 治幸 氏 株式会社がまかつ 代表取締役社長

塩澤 直人 氏 株式会社天龍 代表取締役社長

橋本 俊哉 氏

株式会社エバーグリーンインターナショナル 代表取締役

鈴木 隆 氏 株式会社リチャーズ 代表取締役社長

鈴江 浩康 氏 グローブライド株式会社 常務取締役

高田 務 氏 株式会社シマノ 品質保証部 次長

質疑応答の後、議長が議場に諮ったところ、議決権総数 60、会場出席、委任状及び議決権行使書 54、議決権行使書はすべて賛成であり、第 6 号議案は承認された。


第7号議案 その他については、議長が議場に提案事項等を求めたが、特になかった。以上をもって第38回定時総会の全部の議案の審議が終了したため、議長は第38回定時総会の閉会を宣言した。

令和4年5月25日

上記の議決を確認するため議長及び議事録署名人は次に署名、捺印する。

全国釣竿公正取引協議会 第38回定時総会


議長理事 会長 藤井 治幸

藤井 治幸 

議事録署名人 副会長 塩澤 直人

塩澤 直人 

議事録署名人 会計理事 橋本 俊哉

橋本 俊哉 

——以下余白——